

特集／一般社団法人茨城県建築士会 創立70周年記念

「私たちの軌跡、私たちの使命」

～更なる建築文化の発展へ一翼担う～



70周年のご挨拶

一般社団法人 茨城県建築士会  
会長 柴 和伸

私ども茨城県建築士会は、昭和26年8月26日に創立され、70年を迎えることができました。地域に根差した活動を継続されてきた各支部の会員の皆さん、そして関係各位のご協力により70年という節目を迎えることが出来ました。

本日、会員各位のご出席をいただき、また、ご多忙のなか多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、創立70周年記念式典を開催できますことに謹んで御礼申し上げます。

私たちは今後も建築士会活動をより充実させ、建築士会の役員、各支部、会員の皆様の協力のもと、更なる建築文化の発展の一翼を担えるよう努めてまいります。

さらに、安心・安全、快適な生活環境の構築と維持を目指すため、会をあげて高度な専門能力の建築士の育成にも取り組んでいきたいと考えております。

今後、本会組織も100周年に向けて会員の皆さんと関係各位のご協力により更なる発展を遂げていくべき努力を続けて参ります。



70周年を迎えて

建築行政の運営に多大なる貢献

茨城県知事 大井川 和彦 氏

このたび一般社団法人茨城県建築士会がめでたく創立70周年を迎えられ、本日、盛大に記念式典が開催されましたこと心よりお祝い申し上げます。茨城県建築士会は昭和26年の設立以来、建築士業界の振興はもとより建築士試験や法定講習、研修会の開催などを通じて建築士の技術向上と建築行政の適切な運営に多大なる貢献をしてこられました。

これもひとえに、柴会長をはじめ歴代の役員並びに会員の皆さまのご努力の賜物であり、深く敬意を表する次第でございます。

本県の行政においても災害に際しては大規模な地震発生時に活躍される応急危険度判定士の派遣、建築パトロールへの参加、市町村においての空き家相談会への専門家の派遣などさまざまなご貢献を頂いていることは言を俟たないところで。

皆さまにはこれまでの70年、茨城県の発展を支えていただきました。これから先の茨城県もさまざまな変化をしていくものと思います。しっかりと皆さまのお力添えをいただきながら発展した茨城県をつくっていききたいと思っております。(当日の祝辞より抜粋)



地域に根差した活動を継続  
冒頭、武村実副会長が開後の社会復興のさなかであり、創立当時の会員の皆さま、柴会長が「本会は、建築士の大変なご苦労と努力が、建築士法制定の礎に会員600名が集まり、士会がある」と式辞。また、「違反建築をなく、日本大震災についても触れられ、建築士会の会員は非常時に自らも被災しながらも地域住民のために建築の知識と技術を生かして

建築の知識と技術で社会貢献

田所衆議院議員は「建築士の会員の一人として、信用を高め、地位向上へ努力を怠り、幅広い基礎的な素養と高い専門能力、確かな職業倫理を兼ね備えた高品質な技術と、エンジニアリングに貢献してきた皆さまの軌跡は、大変素晴らしいもの。皆さまが耐震基準をしっかりと守って設計を行うことが社会の安心安全への貢献につながる。私自身も建築士のひとりで誇りを持って、頑張りたい」と意気込みを述べた。

高橋水戸市長は「円滑な公共事業の推進と良好な住環境の整備へご支援、ご理解ご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。空襲対策や災害対応にも皆さまのノウハウが生かされ市民の安心安全が守られていること、心から感謝の意を申し上げます」と話した。

70周年記念式典・記念親睦会

また「水戸市でも学校や市民センターなど公共建築物の老朽化が進んでいて、長寿命化や建て替えなど、市民の負担に配慮するため、どうすべきか政策の立案をしている。これからも建築士会の皆さまとしっかりと連携し、市民の利便性向上

記念講演会

土俵人生に一片の悔い無し

講師 二ノ所 関寛(元横綱稀勢の里)



大学大学院で、四股名を覚えてからボツ科学研結果が出ない低迷期を味わったこと、恩師の死、阿見町に建設した相撲部屋後に負った大けがのこと。二ノ所 関寛方は「私に片言片語で、幼少期から現在に至るまで、まなまなエピソードを時系列順に披露。そう、ち込んだが右骨折の大きさをしたと、新十両昇進にたいして、後には左手を骨折してきたかを

最後に「二ノ所 関寛方は「茨城県の相撲部屋から大関、横綱を育て、県民の皆さんに喜んでいただきた

茨城県建築士会 創立70周年記念講演会



お陰様で愛されて70年  
これまでの地域貢献活動とともに  
更なる建築文化の発展の一翼を担えるよう努めて参ります  
創立70周年  
一般社団法人 茨城県建築士会



次の10年へとつなごう。  
茨城県建築士会の強い結束と、  
揺るがぬ矜持を――。  
われらの建築は 人類の幸福のため 最良の芸術たるべし  
われわれ建築士は 社会の発展のため 最新の指導者たるべし  
わが建築士会は 会員の向上のため 最善の団結たるべし

